

聖餐式 2020. 12. 20 降臨節第 4 主日

特 禱 降臨節第 4 主日 特禱

旧約聖書 サムエル記下 7:4, 8-16

日課詩篇 第 132 篇 8-14

使徒書 ローマの信徒への手紙 16:25-27

福音書 ルカによる福音書 1:26-38

降臨節第 4 主日特禱

全能の神よ、み子の訪れによってわたしたちを清め、心の闇を照らしてください。主が来られるとき、主にふさわしいみ住まいを、常にわたしたちのうちに備えることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 サムエル記下 7:4, 8-16

しかし、その夜、ナタンに臨んだ主の言葉は次のとおりであった。

「わたしの僕ダビデに告げよ。万軍の主はこう言われる。わたしは牧場の羊の群れの後ろからあなたを取って、わたしの民イスラエルの指導者にした。あなたがどこに行こうとも、わたしは共にいて、あなたの行く手から敵をことごとく断ち、地上の大いなる者に並ぶ名声を与えよう。わたしの民イスラエルには一つの所を定め、彼らをそこに植え付ける。民はそこに住み着いて、もはや、おののくことはなく、昔のように不正を行う者に圧迫されることもない。わたしの民イスラエルの上に士師を立てたところからの敵をわたしがすべて退けて、あなたに安らぎを与える。主はあなたに告げる。主があなたのために家を興す。あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。彼が過ちを犯すときは、人間の杖、人の子らの鞭をもって彼を懲らしめよう。わたしは慈しみを彼から取り去りはしない。あなたの前から退けたサウルから慈しみを取り去ったが、そのようなことはしない。あなたの家、あなたの王国は、あなたの行く手にとこしえに続き、あなたの王座はとこしえに堅く据えられる。」

日課詩篇 第 132 篇

8 あなたの力、契約の箱とともに // 主よ、立ち上がって、あなたの安息の地にお進みください

9 祭司は正義をまとい // あなたの聖徒たちは喜び歌え

10 神よ、僕ダビデに約束されたように // 油注がれた者の顔を退けないでください

11 主がダビデに誓われた契約は揺るぎない真実なもの // 「わたしはお前の身から出た者を王座に置かせよう

12 お前の子らがわたしの示す契約と諭しを守れば // 子孫もとこしえに、お前の座に着く」

13 主はシオンを選び// 自分のみ住まいとされた

14 「永遠の安息の地// わたしが望んだこの地を住まいとしよう

使徒書 ローマの信徒への手紙 16:25-27

神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、あなたがたを強めることができになります。この福音は、世々にわたって隠されていた、秘められた計画を啓示するものです。その計画は今や現されて、永遠の神の命令のままに、預言者たちの書き物を通して、信仰による従順に導くため、すべての異邦人に知られるようになりました。この知恵ある唯一の神に、イエス・キリストを通して栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

福音書 ルカによる福音書 1:26-38

六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなづけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

代 禱

○新型コロナウイルス感染症に苦しむ人々のため、またその一日も早い収束のために祈りましょう。

<東京教区>東京聖三一教会、教区資料保全委員会、教会建築委員会のため。

○12月の信施奉獻先 野宿生活者支援のため。

<東京聖三一教会>

○愛餐会・三一軒・ケーキの会のため。

○「手芸の会」のため。

○病床にある方々のため